



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和7年12月1日 NO. 8

042-541-2940

創立46年目(昭和55年開校)

情報を読み解く力



校長 前川 法彦

現代は SNS という便利なツールがありますが、公的な機関からの情報ではなく、生成 AI や不確かな発信元から出たものが拡散されるようになりました。文字だけでなく写真や画像も本物と見分けがつかないくらいリアルになってきています。

昔と比較して情報の伝わる速さと範囲は瞬間的で、真偽を確認する時間もなく、世界中に広がり、人々の行動が起きてしまう負の部分があります。そのため、メディアからの得られた情報は、その背景や特性などを考えて、自分なりの解釈や判断をして行動していく必要があるのです。かなり昔のことですが、エイプリルフールということでテレビ番組の中で、冗談のつもりで情報を伝えてたところ、その情報を信じて多くの人に迷惑をかけてしまったことがありました。

いま、世界的に人々が自分の見たい情報しか見なくなり、多様な考え方ができなくなり、異なるものを排除するようになっていっていると言われていています。自分こそが正しいと信じてしまう心理のあられでもある誹謗中傷もそのひとつです。また、相手に嫌な感情だけが残るコミュニケーションや SNS の投稿は、人と人との関係を悪くするだけで、世界的なつながりが必要な現代ではマイナスになるでしょう。

年末年始は、SNS に触れる機会が増えるとともに、クリスマスやお正月など多くの情報に触れる機会が出てくると思います。情報があふれる中で、その情報が正しいのかを見極めるために「①誰が発信した情報なのか」「②いつ発信された情報なのか」「③情報の信ぴょう性はあるのか」など多角的な視点で見ていくことが大切になります。情報を伝えるメディアの特徴を理解したうえで、自分自身をアップデートさせて情報を正しく読み解く力や発信する力を付けていきましょう。